

市内中学生と教育委員との意見交換会（令和5年10月19日）概要

1 教育長あいさつ要旨

- ・教育委員会とは何か疑問に思っていると思う。地方公共団体は市長が首長だが、戦時中に教育が政治的な意図に使われた負の歴史があるので、教育行政を民主的に行うために、市長とは別の組織が作られている。教育委員会の決め事は、私と教育委員の5人で相談して最終決定する。生徒会もそうだと思うが、みんなの意見で決めることで、民主的な運営ができる。
- ・今日はぜひ中学生の声を聴いて、教育施策に反映していく参考にさせていただきたい。

2 主な意見内容

(1) 新入学用品の買替え、買足しの有無について

- ・中学3年までの間で、運動着を修学旅行や宿泊学習のために買い足した。
- ・買い足しはせず、兄のお下がりを使っている。
- ・部活動は週4回あるので、洗い替えのため最初に2着買った。
- ・上履きは買い替える人も多い。
- ・兄が2歳違いなのでお下がりをもらえず、かなりお金がかかった。

(2) 制服・運動着等は、統一規格のものを着たいか、自由なものを着たいか。

【統一したほうが良い】

- ・学校には校則があるし、校風委員の皆さんが学校のために頑張っている。ルールを守るという意味で学びになると思うので、統一したほうが良い。
- ・同じ服装で同じ行事（体育祭）に参加すると団結力につながるので、運動着は統一したほうが良い。
- ・校外学習で運動着などを着用した状態で移動する場合は、校章が付いていないと、はぐれたときに所属が証明できない。
- ・自分の学校では制服が決まってはいるが、「統一する」ことに対する優先順位は低いと感じる。しかしながら、そろっていることで校風が引き締まる面はあると思うので、統一したほうが良い。
- ・制服が決まっていたほうが、団体行動に支障をきたさないという意味では良い。私服での通学だと、帰り道で寄り道をしてバレないので、そういう人も出てくるのではないか。
- ・個人的には、制服が嫌なら高校は私服で登校できる場所を選べばいいし、制服が良いなら制服のある高校に行けば良い。中学はいろんな人が

集まるので、一つの校則を守ることが大事だと思う。自由は高校からでよいのではないかと思っている。

【自由なほうが良い】

- ・あまりデザインが違わないなら良い。
- ・あくまで運動のためだけに用いるのであれば、デザインが少し異なっても、大まかな仕様さえ決まっていれば良い。
- ・みんなが同じものを着るのは、考える必要がなくて楽。でも、自分はマジョリティよりもマイノリティに身を置きたいので、みんなと同じはあまり好きではない。自由な服なら個性を出す手段になる。
- ・指定されるよりも自由なほうが、機能性も見ながら、自分に合ったものを選べる。基本的に中学の制服は全体的にデザインや色が似ているので、統一されていなくても、自分だけ目立ったり疎外感を感じたりすることはない。
- ・今の時代、個性を尊重する傾向に世の中があるので、統一されすぎているのは時代にそぐわないと思う。
- ・制服が決まっていると、気候に応じた体温の管理がしにくく、過ごしやすさの妨げになるので、統一する必要はない。
- ・今年の1年生から制服が変わった。兄弟がいる場合、新しいものを買うことになるので余計にお金がかかるので、制服を変えるくらいなら自由にしてほしい。
- ・運動着が白いTシャツならほとんど形も一緒なので、ビブスを着れば問題ない。
- ・学校の制服が決まっていないので、自分のクラスには、細かな違いだが、シャツにレースのようなヒラヒラが付いている人もいる。個性を出しやすい環境だと思う。

【その他】

- ・指定店が決まっているので、親は「高い」と言っていた。
- ・制服は、特に女子はお金がかかる。制服も体操着も指定店でしか売っておらず、それで高すぎるということもある。もう少し売る店舗を増やして価格の競争をすれば、今より価格も下がって経済的に良いのではないかと思う。

【教育委員等の意見】

- ・中学校で統一された服が決まっているのは、歴史的にも願いがあったと

思う。制服を変える時も、生徒と保護者が話し合いながら、願いをもって決めている。でも、私は、小学校も中学校も高校も、制服を決めないまちであるほうが素敵だと思う。7歳から18歳まで、学校に着ていく服が決まっていない松本市であればいいなと思っている。

- ・選べれば良い。同じであることを選ぶ人もいて良いし、違うことを選ぶ人もいて良い。
- ・皆さんの考えはそれぞれあると思うが、幅や選択肢を拡大して考え、学校や個人に合ったものを選んでいければ良い。
- ・多くの小学校で買っている新入学用品の価格を足し上げると1万6,000円くらいになる。長野県の最低賃金は948円なので、17時間分、お父さん・お母さんが約2日間働いてそれが買える。中学で一番高い制服の学校は、女子が9万円。95時間分、12日間くらい働いた結果が制服になる。同じ松本で暮らしているのに、地域・学区によって差が出てくるのは、保護者の立場から疑問を感じる。
- ・社会人になってから大事なのは、TPOに合わせて服装をコントロールして整えていくこと。小学生の時から、自分でコントロールすることが大事だと思う。保護者の方と相談しながらそろえていく市の学校であってほしいと思っている。

(3) 更衣室について

- ・男女同室で着替えている。教室での着替えに抵抗があるかどうかは個人の考えによるので、嫌な人がいるなら更衣室を作ったほうが良い。
- ・男子がプールの時に体育館のステージでカーテンを引いて着替えているのはどうかと思う。
- ・私自身はあまり気にならないが、入学時に友人が、更衣室がないことに驚いていた。空き室がなくて難しい面もあると思うが、例えばパーティションなどで仕切ることができれば良いのではないか。
- ・これまではあまり疑問を感じてこなかったが、やはり男女同室なのはおかしいのかなと思った。同室が嫌な人の意見も尊重できる仕組みがあれば良い。
- ・自分のクラスは例外かもしれないが、男女とも困っているような感じはない。抵抗がある人がいるのであれば、カーテンとかで仕切りを作るのも大事だと思う。
- ・恥ずかしいという人は見たことがないし、自分は着替えるだけならいいと思うが、最近は男子にも恥ずかしいと感じる人もいるので、カーテンで分ける措置は大事なのかなと思う。

- ・自分のクラスは、少なくとも女子は恥ずかしいというのは全くないとは思う。学校には空き室がほぼない。また、少しの時間でもやらなければならないことがあるので、別の教室に行って着替える時間がもったいない。このままでも良いし、気になる人がいるなら、カーテンとか、一人一人が負担にならない程度にやれば良い。
- ・体育館やプール等に男女別の更衣室がある。思春期なので、分けること自体は賛成。ただ、更衣室で談笑する人たちが授業の開始を遅らせているので、使用時間を決めて使ってほしい。
- ・各階に空き教室が1つくらいはあるので、時間を気にせず着替えに使えるようにしてほしい。

【教育委員等の意見】

- ・中学生の感じ方の違いもあると感じた。さほど気にならないという方もいれば、重ね着していても抵抗のある人もいるのだろうと思う。やはり更衣室は作っていかなければならない。そういう生活をする中で育っていく感性もあるように思う。
- ・パーテーションやカーテンをつけるなど、できる限り普通に着替えができる状況を作っていきたい。

(4) スマートフォンの使用について

(持っている人は挙手 ⇒ 約半数)

- ・クラスにはLINEグループがあるが、入っているのは約半分くらい。
- ・スマホは持っているが、クラスLINEをやっていない。
- ・スマホを持っているか持っていないかで、つながりの違いを感じることはない。
- ・クラスLINEでの話題についていけないことが1回あった。
- ・クラスLINEはあるが、大切な連絡はタブレットで来る。クラスLINEはほぼ使っていない。
- ・クラスLINEは話題に上ることがない。あるけどないようなもの。

(5) タブレットについて

- ・毎日持ち帰っている。
- ・活用されている教科が限られているのが現状。同じ教科でも、使っている先生と使っていない先生がいる。

(6) 授業について

- ・ガチガチの雰囲気だとシーンとなってやりにくい。先生が緩い感じだと面白い。
- ・先生によって教え方に違いがある。学校に来るなら学校でしかできないことをしたいので、みんなで話し合う時間もあったほうが良い。
- ・面白いのは理科。実験して終わりではなく、自分の言葉でまとめる時間をくれる。その後に生かされるのでうれしい。
- ・授業の最初に何を追及・探究したいかをはっきりさせて、見通しをもってから受ける授業はわかりやすいし、興味をもって取り組める。
- ・社会で、ところどころで歴史上の人物を理解するために劇をする。自分が実際にその場面を経験するとしっかり身につく。自分たちが経験する教え方が授業として一番楽しいと思う。
- ・英語と国語が楽しい。基本的に教科書の内容プラス発表がある。友達と発表したり質問したりするのが楽しい。国語の先生が、物語や古文の授業でコスプレしてきて強い印象を与えてくれる。古文は頭に入りにくいですが、生徒を巻き込んで劇をしたりして、頭に入りやすくなった。観て聴いて取り入れるのは楽しい。
- ・先生と生徒の二人三脚で成り立つような授業が好き。先生が「どう思う？」と聞いて、生徒が「こうだと思う」といったときに、別の生徒が、「じゃあなんでこうなるんですか？」と聞いて、先生がさらに答えるのが好き。
- ・相手がある授業、例えば、信州大学の留学生に、英語の文章を作って発表するような授業が好き。日本の伝統を伝えたいときに、相手はどんな人なんだろうと考えて広がる考えや深まる学びが好き。

(7) 中学校でしんどいこと、変わったらいいなと思うことはあるか。

- ・全校で集まったときの「体育座り」がつらい。前後のスペースが近いのでギュッとならないといけない。長時間なので腰や腕がつらくて話に集中できない。話を聞く際の体勢がもう少し楽になるといいなと思う。
- ・机の面積が小さい。昔はノートと教科書で完結していたが、今はどんな教科でもタブレットを置いているので狭い。もう少し広々と使いたい。
- ・3年生は4階まで登らなければならないのでつらい。